

研究主題

自分を見つめ、他者と関わり合い、
より深くより広く、考える児童の育成
～道徳科の授業づくりを通して～

研究仮説

発問を絞り込み、他者との関わり合いの場面を設定し、「読む道徳」から「考え議論する道徳」にすれば、一人一人がじっくりと考え、他者の考えを受け止めて、自分の考えを深化させたり、広げたりする児童を育成することができるであろう。

身に付けさせたい6つの資質・能力

- ① 知識・理解 ② 思考力 ③ 判断力
④ 表現力 ⑤ 主体性 ⑥ 協働性

◇議論する道徳科授業

何を学ぶか

◇見守り型複式授業

◇各教科の目標

(算数科を核に)

どのように学ぶか

◇教科の見方・考え方
◇単元の工夫

★★指導者の振り返り
授業後の板書の活用

★★ねらいに迫る
効果的な問い返し

★発問の絞り込み
道徳授業評価票の活用

★他者との関わり合い
の場面設定

★綿密な教材研究
教材分析シート作成

◇「読む道徳」
からの脱却

主体的・対話的で深い学び

PDCAサイクル

★ふりかえり

★適用・活用

★まとめ

★協働解決

★自力解決

★めあて ★見通し

★課題把握

◇川西小学びの
スタイル

○生活科 総合的な学習の時間 ○学習経験 ○人権感覚

○ことばの力 ○実践的コミュニケーション ○生活経験